

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ藤が丘園	種別：認可保育所
代表者氏名：羽牟 享子	定員（利用人数）：60名 （利用人数：58名）
所在地：〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘1-16-20 第二東急藤が丘ビル1F	
TEL：045-974-0404	ホームページ： <a href="https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_030.html">https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_030.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2012年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：10名
専門職員	園長：1名 主任：1名
	保育士：17名 保育補助：1名
	栄養士：1名 調理師：2名
施設・設備の概要	保育室：6室 ホール：1ヶ所
	トイレ：4ヶ所 事務室：1室
	調理室：1ヶ所 シャワー室：1室
	職員休憩室：1室 園庭：有

③ 理念・基本方針

【保育理念】 ・子どもたちの未来のために
【保育目標】 ・思いやりの心が育ち、自分も周りも大切にできる子ども ・自分から感謝を伝えられ、元気に挨拶ができる子ども ・やりたいことを自分で見つけ、挑戦できる子ども
【保育方針】 ・丁寧に一人ひとりと関わり、自分の思いや気持ちがうけとめられ安心して過ごせるようにする ・保育者や友だちとのやりとりを積み重ねる中で、挨拶や感謝の気持ちを伝える心地良さを知らせていく ・子どもの姿を捉え「やってみたい」気持ちが生まれる環境づくりをし、その思いを継続できるようにする

④ 施設・事業所の特徴的な取組

・自然の中で豊かな経験 近隣の公園に散歩に出かけ四季折々の自然観察や自然物を取り入れ遊びから学びを深め、豊かな感性と健康な身体を育てています。
--

・様々な人との交流

異年齢の交流や近隣保育施設との交流、地域の施設（消防署・高齢者施設等）の交流を積極的に実施して、豊かな心を育てています。

・食育を通し、食事への興味や食文化への関心を育てています。

食品業者オイシックスの協力のもと、稲や根付き野菜、枝付き野菜などの提供を受け、乳児から実物を手で触れ食材への興味を育てています。幼児は野菜の皮むきの手伝いをしたり、三食品群についてふれる機会を設けています。5歳児は芋の苗付けや野菜の栽培、水やりなどの世話をし収穫を楽しむ体験をしています。また、日本の食文化に触れ団子作りや鏡餅等、子どもたちが主体となって作り上げています。

・体操教室の実施

4.5歳児クラスは外部講師が行うプログラムで、鉄棒・マット・跳び箱・縄跳び等、運動能力の向上と協調性、思いやりなど心と体をバランスよく成長できるよう取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日）～ 令和6年1月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どもの主体性を生かした保育を実践しています

年長児は、「子どもミーティング」を実施し、子どもたちが主体的に活動に取り組めるように配慮しています。職員は、子どもの意見や考えを表明できるようにサポートし、見守る姿勢を大切にしています。自分の思いを伝え、友だちの良いところを感じて理解し合っています。絵本や玩具を自由に手に取り、集中して遊ぶことのできる環境は、子どもたちの感性や想像力を育て、やりたいことを自分で見つけて挑戦する気持ちを育てています。

2)保育士を育てる環境づくりに力をいれています

クラスでは毎月保育の反省や課題などを話し合い、乳・幼児会議で共有しています。他クラスの担任も参加し、発言しやすい小グループ体制でアドバイスを伝え合い、また、他保育所で発生した事故・事件等を題材にした事例研究も行っています。職員は定期的な園長面談や外部の研修会に参加し、保育実践の振り返りを行い、保育スキルや専門性の向上に努めています。ブレインストーミング（KJ法）などの手法を活用して共通の問題意識を持ち、意志統一して保育に取り組んでいます。

3)食育に取り組み食の大切さを伝えています

保育士と栄養士が一丸となり、子どもの生活全体を通しての食育を実施しています。各職員が役割や連携を明確にして食育計画を作成しています。年齢に応じた食と関わる体験活動を実施する他、園庭で夏野菜を育てたり、サツマイモを農家の協力のもと、苗から育てて収穫まで行うなど、食育に基づいた保育活動を豊かに展開しています。玄関ホールには、手作りの3色食品群の掲示を飾り、バランスよく食事をするこの大切さを伝えています。

4)新たな保育環境に向けた準備が期待されます

園は来年度4月に移転して新たな園舎で保育を開始することが決まっています。新園舎のクラス室や設備等を想定した新たな保育スタイルの検討を始めています。具体的には、これまで以上に園舎内での異年齢保育に取り組む事等です。少子化の環境下、

兄弟姉妹がいない子どもたちも多く、年下・年上の子どもの関係性など保育環境の変化や、広い園庭に変わることによる園庭活動などに向け、これからの安全安心な保育実践の準備が期待されます。

5) 保育職育成や学校教育への協力が期待されます

実習生等保育に関わる専門職の研修・育成については法人が窓口となっています。次年度新園舎での保育スタートを機に、地域の大学・短大・専門学校等への積極的な協力や、専門職の研修・育成への支援の実施が期待されます。地域の各種学校との協力関係を構築し、学校教育への協力（小学生の職業見学、中学生の職業体験、高校生のインターシップ等）や子どもの保育の支援につながるボランティアの受け入れを検討・実施することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2020年度に第三者評価を受審後、その経験を踏まえながら保育制度等も変化するなかで、グローバルキッズ藤が丘園の保育について振り返るととても良い機会となりました。

日常の保育や活動、行事など保育者が意図していることを職員間で話し合い共通認識を持つことができ、今後の保育の質の向上にも繋がったと思います。また、職員一人一人が自己評価を行なえたのは貴重な経験で、保育園の役割や社会的責任、多様なニーズにも対応できる保育園について理解が深まったと感じています。

2024年度の新園舎移転に向け新たな保育スタイルを職員と検討しながら、評価していただいている点は継続し、課題については改善に向け職員全体で取り組み、より安心して通える施設をめざし努力していきたいと考えています。

保護者の皆様には調査アンケートへのご協力いただき、心より感謝申し上げます。皆様から頂いた貴重なご意見は、今後の園運営に活かしてまいります。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり